

放射線科学域 博士論文書式 (ver. 16.05.06)

1. 原稿の分量および形式は、下記のとおりとする。

- (1) ワードプロセッシングソフトウェアを用いて作成する。
- (2) 図表は本文中に挿入する。
- (3) 日本語論文の場合、A4 横書き、40 行/ページ、40 文字/行の 1,600 字/ページとし、図表、写真、引用文献を含み、200 ページ以内とする。
- (4) 英語論文の場合、A4、ダブルスペースとし、図表、写真、引用文献を含み、400 ページ以内とする。

2. 論文記述上の注意

- (1) 原則として国際単位系 (SI) 表記法、西暦を使用する。
- (2) 外国語での人名、用語等は、原語で記述する。
- (3) 略語を使用する場合は、最初の記述箇所では原語またはフルスペルを記述し、続いてカッコ内に以降使用する略語を記述する。

3. 引用文献の記載方法

- (1) 引用箇所の右肩に、順に 1)、2) の引用番号を付し、引用文献のページに出典を記載する。
- (2) 雑誌の場合 著者名：題名、雑誌名、巻(号)：引用ページ、発行年の順に記載する。

(例)

井村恒郎：知覚抗争の現象について、精神経誌，60：1239-1247，1989.

Baxter LR, Schwartz JM, Phelps ME, et al.: Reduction of prefrontal cortex metabolism common to three types of depression, Arch Gen Psychiatry, 46: 243-250, 1989.

- (3) 単行本の場合 著者名：題名、監修または編者、書名、版数、：引用ページ、発行社名、発行地、発行年の順に記載する。

(例)

八木剛平，伊藤斉：躁鬱病．保崎秀夫編著，新精神医学：282-306，文光堂，東京，1989.

Gardner MB: Oncogenes and acute leukemia. Stass SA (ed), The Acute Leukemia: 327-359, Marcel Dekker, New York, 1987.

- (4) 著者が 4 名以上の場合、3 名を連記し、○○○○他、または○○○○ et al. とする。

4. 論文の構成と体裁

次に示す順序のとおり一つの PDF ファイルにまとめること。本文から引用文献までのページ下中央にページ番号を記すこと。

ブック形式の場合

- (1) 冊子表紙（「放射線科学域（製本体裁）」に指定された様式で作成すること）
- (2) 内部表紙（別紙様式 1 を使用し作成すること）
- (3) 要旨（別紙様式 3 で作成した要旨本文のみを転載すること）
- (4) 目次
- (5) 本文（第 1 章 序論から 最終章 結語の順で記述すること）
- (6) 引用文献（3. 引用文献の記載方法に従うこと）
- (7) 謝辞（必要な場合）

学術論文形式の場合

- (1) 冊子表紙（「放射線科学域（製本体裁）」に指定された様式で作成すること）
- (2) 内部表紙（別紙様式 1 を使用し作成すること）
- (3) 要旨（別紙様式 3 で作成した要旨本文のみを転載すること）
- (4) 主論文別刷り
- (5) 主論文が共著の場合は、共同筆者の許諾書
- (6) 副論文目録ならびに要旨
- (7) 謝辞（必要な場合）

5. 論文提出 提出書類・部数

次の表に記載された書類を指定の部数提出すること。

表 提出書類・部数一覧

	書 類	様 式	部 数
1	学位申請書	PDF データ（様式 2）	1 部
2	履歴書	PDF データ（様式 6）	1 部
3	研究業績一覧	PDF データ（様式 5）	1 部
4	学術論文	・ブック形式の場合は 3 編 ・学術論文形式の場合 は主論文以外の 4 編	各論文につき 1 部
5*	共著論文の場合、許諾書	PDF データ（様式 4）	各論文につき 1 部
6	論文	PDF データ、	1 部
7	要旨	PDF データ（様式 3）	1 部
8	学位論文の研究に関する データ等使用申込書・許 可書	PDF データ（様式 7）	1 部
9	複製に関する許諾書	PDF データ（様式 8）	1 部

注)

- ・ブック形式の場合は、「学術論文（3 編）」については、筆頭著者 1 編以上を含む 3 編とする。学術論文形式の場合は、主論文以外の 4 編とする。主論文と関連があれば修士論文も学術論文 1 編とみなす。論文掲載決定の通知がある場合、掲載決定通知（または採択通知）の写しと投稿論文の写しを提出すること。